

藤原 恵教授略歴・主要論文

— 略 歴 —

明治40年 1月	愛媛県西条市に生まれる
大正13年 3月	愛媛県立西条中学校卒業
大正13年 4月	関西学院文学部社会学科（4年制）入学
昭和3年 3月	同 卒業
昭和3年 4月	大阪時事新報社入社
昭和6年 8月	同社退社
昭和6年 9月	大阪朝日新聞社入社
昭和19年 9月	出版局編集部次長兼週刊朝日副編集長
昭和21年 3月	漢字整理委員会委員
昭和21年 5月	出版局大阪雑誌編集部長
昭和22年 7月	出版局大阪取材部長
昭和22年11月	出版局大阪図書編集部長
昭和25年 2月	大阪本社整理部次長
昭和26年 4月	新聞用語改善委員会主任委員
昭和26年10月	大阪本社ラジオ課長
昭和27年 9月	部長待遇
昭和28年11月	大阪本社特信課長（部長待遇）
昭和29年10月	読者応答室員（大阪在勤）（部長待遇）
昭和37年 1月	定年退社，同社客員
昭和37年 1月	朝日新聞社史編修室嘱託（昭和47年1月辞任）
昭和37年 4月	関西学院大学社会学部教授
昭和44年 4月	同 修士課程指導教授

— 学会などの関係 —

関西学院大学在任中は日本新聞学会理事または監事として、新聞学研究会は昭和25年より常任幹事として、ジャーナリズム研究機関に微力を捧げている。奉仕活動としては法務大臣より人権擁護委員（昭和35年9月より）を委嘱され、現在大阪第一人権擁護委員協議会会長、大阪府人権擁護委員連合会副会長。

— 論 文 —

大阪に見る新聞史の一齣	新聞学研究 5号	昭和25年 5月
機関紙（広報紙）の編集について	日本新聞学会・新聞学評論 2号	昭和28年 3月
新聞と世論	関西大学・新聞学研究 7号	昭和36年 6月
新潟地震の新聞報道	関西学院大学社会学部紀要 9号	昭和39年11月
参院選と新聞の態度	〃 12号	昭和40年12月
朝日新聞社事件		
— マスコミはいかにとりあげたか —	〃 14号	昭和41年12月

明治の錦絵新聞について	関西学院大学共同研究紀要 1 号	昭和42年 3 月
新聞学を拓いた人たち		
—日本ジャーナリズム成立史に悼さす—	関西学院大学社会学部紀要15号	昭和42年12月
近代新聞への胎動		
—中外新聞から内外新聞まで—	” 20号	昭和45年 3 月
変革の時代と新聞媒体		
—全国紙にみるその現状と展望—	” 22号	昭和46年 3 月
明治初期における大阪の新聞	大阪市・都市問題研究 282 号	昭和49年 6 月
関西学院史に見る新聞教育		
—小山東助から河上丈太郎へ—	関西学院大学社会学部紀要29号	昭和49年11月

— 著 書 —

新聞関係図書目録（藤原恵文庫目録）	朝日新聞社	昭和20年 8 月
-------------------	-------	-----------